

施策評価シート【分野別施策】

施策名		関係部					
1-⑥	活発な市民の交流を促進する	企画政策部、市民部					
所管事業に関連する成果指標							
指標名	単位	計画 策定時	実績値				目標値 31年度
			27年度	28年度	29年度	30年度	
友好都市物産展来場者数（年間）	人	19,123	16,601	13,217			19,500
国際交流事業参加者数（年間）	人	4,732	4,762	3,173			5,000
市民・大学交流委員会主催の事業数（年間）	事業	14	12	13			16
関連事業							
○市民・企業・大学等交流事業○国際交流活動推進事業○友好都市交流推進事業○外国籍市民交流推進事業○多文化共生推進事業							
決算額							
	28年度	29年度	30年度	31年度			
事業費（千円）	6,776						
執行率（％）	84.78						
施策の推進に向けた主な取組の「成果」							
<ul style="list-style-type: none"> ●ローレンス市姉妹都市提携 25 周年記念として、公式訪問団をローレンス市へ派遣することで、本市の魅力を発信するとともに、ローレンス市民と交流し、相互理解を深めました。 ●日本語教室を開催することで、語学だけでなく日本の文化や習慣の学習や生活上の疑問点を相談できる場としたほか、日本語を教えるボランティアの講座により技能向上に努めました。また、外国籍市民や市民主体の国際交流フェスティバルの開催や小中学生のポスター・作文コンテストを通じて、国際理解を促進しました。 ●宮沢賢治生誕 120 年を記念して、花巻市と協力しながら、「宮沢賢治ゆかりのバラ」が植栽されている総合公園及び八幡山の洋館で「友好都市三市合同物産展」のPRを実施するとともに、本市及び友好都市 3 市の小学 5、6 年生が参加した「友好都市マリン交流」などを実施することで、幅広い世代で友好都市 3 市との交流を深めました。 ●窓口への通訳の派遣や書類の翻訳など、外国籍市民に理解しやすい情報を提供するとともに、市民生活ガイドブックスペイン語版を改訂しました。 ●平塚市民・大学交流委員会の文化・生涯学習、スポーツ、福祉、環境、観光の 5 つの推進部会により 13 事業を実施し、市民と大学の交流が活発に行われました。 							

施策を推進する上での「課題」	課題解決を図るための「取組方針」
<p>●グローバル化・ボーダーレス化が進み、異なる文化への理解がより必要となっています。また、外国籍市民への支援として、通訳・翻訳等ボランティアの人材育成や災害時における安全確保を図る必要があります。</p> <p>●市民、企業、大学等の交流を促進するため、より多くの市民等の参加が得られるよう工夫を凝らす必要があります。</p>	<p>●市民主体の魅力ある交流イベントや日本語ボランティアの研修会を開催し、相互理解を進めます。また、相談窓口への定期的な通訳派遣や市民生活ガイドブック外国語版を改訂するほか、通訳・翻訳ボランティアの研修会等を開催します。さらに、災害時の外国籍市民への支援及び情報提供について、情報交換会等で検討していきます。</p> <p>●市民・企業・市の一層の活性化を図るため、事業実施結果の評価を踏まえ、事業内容の見直しや新規事業の提案、各部会間の調整を行います。</p>